

乗務員用スマートフォンの導入について

2023年1月26日

JR四国では、緊急時の連絡体制確保のため、車掌及び運転士（以下、乗務員）が業務用携帯電話を所持していますが、この度、連絡体制の確保に加え、安全性とサービスの向上及び乗務員の働きやすさの向上を目的として、業務用携帯電話に代わりスマートフォンを導入しますのでお知らせいたします。

1 時期：2023年2月12日（日）～

2 端末：スマートフォン

3 対象：全乗務員

4 目的及び概要

(1) 目的

緊急時の連絡体制確保に加え、安全性とサービスの向上及び乗務員の働きやすさの向上を図ります。

(2) 主な概要

<サービス>

- ・車内補充券発行機能アプリにより、列車内で車掌がきっぷの販売等を行います。
- ・お乗換等お客さまからのお問い合わせに迅速に対応します。
- ・翻訳アプリにより、外国人のお客さまへのサービス向上を図ります。

※車内補充券とは列車内で発行するきっぷのことです。

<安全運行>

- ・運転士がスマートフォンを運転席に設置し、防災情報の取得や徐行地点の注意喚起等の運転支援を行うことで安全性の向上を図ります。
- ・乗務員の業務に関する規程やマニュアル等を電子化し、検索機能等を活用した対応力の向上及びペーパーレス化を図ります。
- ・異常時において乗務員と指令等にて写真データ等の情報共有を強化することで運転再開の迅速化を図ります。

※上記概要には、今後導入予定のものを含みます。

(主なスケジュール：2月12日～導入、4月1日～車内補充券発行機能、秋頃～運転支援機能)



【使用イメージ】

5 その他

乗務員が業務としてスマートフォンを使用しますが、運転操縦中はスマートフォンを操作しない等、安全運行に支障がない取扱いとしています。